

教科(科目)	情報 (社会と情報)	単位数	1単位	学年 (コース)	1 学年(普通科)
使用教科書	日本文教出版『新・社会と情報』				
副教材等	日本文教出版『情報のノート「新・社会と情報」』 第一学習社『ケーススタディ情報モラル』				

1 学習目標

情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解させ、情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するとともに効果的にコミュニケーションを行う能力を養い、情報社会に積極的に参画する態度を育てる。

2 指導の重点

1. 情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解させる。
2. 情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して、情報を収集、処理、表現させる。
3. 効果的にコミュニケーションを行う能力を養い、情報社会に積極的に参画する態度を育てる。

3 学習計画 (「時間」の欄は授業時間55分を1時限とした時間数)

月	単元名	教材	主要学習領域	学習活動 (指導内容)	時間	評価方法
4 5	序章 1章 情報社会に生きるわたしたち	教科書 p4～49 学習用ノート p2～25	・情報とは何か? ・情報収集・発信の社会的側面 ・情報化の進展とこれからの生活・社会 ・知的財産権	・情報や情報社会についての意味を理解する。 ・情報を評価し、信頼性について考える。 ・サイバー犯罪について学ぶ ・個人情報の保護について学ぶ。 ・コンピュータの変遷、基本的なしくみと多様な用途を学習する。 ・知的財産権について学ぶ。 ・私的録音や不正コピーについて学ぶ。	6	課題提出 レポート提出 学習用ノート提出 考査 プレゼン発表 等
6 7	3章 情報社会と情報システム	教科書 p92～125 学習用ノート p44～55	・情報システム ・情報セキュリティ ・情報通信産業	・社会を支えるさまざまな情報システムについて学ぶ ・情報を守る仕組みについて学ぶ。 ・情報社会を支える産業にさいて学ぶ。	6	
9 10 11	2章 情報社会とデジタル技術	教科書 p52～91 学習用ノート p26～43	・デジタルデータとその特徴 ・文字・音・画像のデジタル技術 ・ネットワークのしくみ	・文字、数値、画像、動画などの情報をデジタル化するしくみと、デジタル情報の圧縮について学習する。 ・情報のデジタル化のしくみとその活用について学習する。 ・2進法、10進法、16進法について学ぶ。 ・インターネットで情報のやり取りする仕組みを学。	6	
12 1	終章 情報社会と問題解決	教科書 p126～129 p146～151 学習用ノート p56～59 p70～759	・情報格差 ・テクノストレス ・未来の情報社会	・情報社会のさまざまな問題について学ぶ。 ・情報格差について知る。 ・テクノストレス、テクノ依存症などについて学ぶ。 ・ユニバーサルサービスについて学ぶ。	6	
2 3		教科書 p130～145 学習用ノート p60～69 p76～105	・情報の作成 ・情報の統合と活用	・問題解決の手法とプロセスを学ぶ。 ・ワープロ、表計算、プレゼンテーションソフトなどを用いて情報の表現や統合を図り、その発表方法を考える。	8	

4 課題・提出物等

1. 実習に伴う課題やレポートなどの提出があります。
2. 学習用ノートの提出があります。

5 評価規準と評価方法

評価は次の4観点から行います。

	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
評価の観点・規準	情報や情報社会に関心をもち、身のまわりの問題を解決するために、自ら進んで情報及び情報技術を活用し、社会の情報化の進展に主体的に対応しようとする。	情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するため、情報に関する科学的な見方や考え方を活かすとともに情報モラルを踏まえ、思考を深め、適切に判断し表現している	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な技能を身に付け、目的に応じて情報及び情報技術を適切に扱っている。	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識を身に付け、社会における情報及び情報技術の意義や役割を理解している。
評価方法	課題提出 レポート提出 学習用ノート提出 考査	レポート提出 プレゼン発表	レポート提出 考査 プレゼン発表	学習用ノート提出 考査

以上の観点を踏まえ、課題に対する評価を中心に、授業に対する取り組み、テストなどを総合的に判断します。

6 担当者から一言

1. 授業中は説明をしっかりと聞いてください。また疑問点には積極的に質問してください。
2. 実習があります。プレゼンテーションなどには主体的に取り組んでください。
3. 課題は必ず提出すること。

教科(科目)	情報 (社会と情報)	単位数	1単位	学年 (コース)	2 学年(理数科)
使用教科書	日本文教出版『新・社会と情報』				
副教材等	日本文教出版『情報のノート「新・社会と情報」』 第一学習社『ケーススタディ情報モラル』				

1 学習目標

情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解させ、情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するとともに効果的にコミュニケーションを行う能力を養い、情報社会に積極的に参画する態度を育てる。

2 指導の重点

1. 情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解させる。
2. 情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して、情報を収集、処理、表現させる。
3. 効果的にコミュニケーションを行う能力を養い、情報社会に積極的に参画する態度を育てる。

3 学習計画 (「時間」の欄は授業時間55分を1時限とした時間数)

月	単元名	教材	主要学習領域	学習活動 (指導内容)	時間	評価方法
4 5	序章 1章 情報社会に生きるわたしたち	教科書 p4～49 学習用ノート p2～25	・情報とは何か? ・情報収集・発信の社会的側面 ・情報化の進展とこれからの生活・社会 ・知的財産権	・情報や情報社会についての意味を理解する。 ・情報を評価し、信頼性について考える。 ・サイバー犯罪について学ぶ ・個人情報の保護について学ぶ。 ・コンピュータの変遷、基本的なしくみと多様な用途を学習する。 ・知的財産権について学ぶ。 ・私的録音や不正コピーについて学ぶ。	6	課題提出 レポート提出 学習用ノート提出 考査 プレゼン発表 等
6 7	3章 情報社会と情報システム	教科書 p92～125 学習用ノート p44～55	・情報システム ・情報セキュリティ ・情報通信産業	・社会を支えるさまざまな情報システムについて学ぶ ・情報を守る仕組みについて学ぶ。 ・情報社会を支える産業にさいて学ぶ。	6	
9 10 11	2章 情報社会とデジタル技術	教科書 p52～91 学習用ノート p26～43	・デジタルデータとその特徴 ・文字・音・画像のデジタル技術 ・ネットワークのしくみ	・文字、数値、画像、動画などの情報をデジタル化するしくみと、デジタル情報の圧縮について学習する。 ・情報のデジタル化のしくみとその活用について学習する。 ・2進法、10進法、16進法について学ぶ。 ・インターネットで情報のやり取りする仕組みを学。	6	
12 1	終章 情報社会と問題解決	教科書 p126～129 p146～151 学習用ノート p56～59 p70～759	・情報格差 ・テクノストレス ・未来の情報社会	・情報社会のさまざまな問題について学ぶ。 ・情報格差について知る。 ・テクノストレス、テクノ依存症などについて学ぶ。 ・ユニバーサルサービスについて学ぶ。	6	
2 3		教科書 p130～145 学習用ノート p60～69 p76～105	・情報の作成 ・情報の統合と活用	・問題解決の手法とプロセスを学ぶ。 ・ワープロ、表計算、プレゼンテーションソフトなどを用いて情報の表現や統合を図り、その発表方法を考える。	8	

4 課題・提出物等

1. 実習に伴う課題やレポートなどの提出があります。
2. 学習用ノートの提出があります。

5 評価規準と評価方法

評価は次の4観点から行います。

	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
評価の観点・規準	情報や情報社会に関心をもち、身のまわりの問題を解決するために、自ら進んで情報及び情報技術を活用し、社会の情報化の進展に主体的に対応しようとする。	情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するため、情報に関する科学的な見方や考え方を活かすとともに情報モラルを踏まえて、思考を深め、適切に判断し表現している	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な技能を身に付け、目的に応じて情報及び情報技術を適切に扱っている。	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識を身に付け、社会における情報及び情報技術の意義や役割を理解している。
評価方法	課題提出 レポート提出 学習用ノート提出 考査	レポート提出 プレゼン発表	レポート提出 考査 プレゼン発表	学習用ノート提出 考査

以上の観点を踏まえ、課題に対する評価を中心に、授業に対する取り組み、テストなどを総合的に判断します。

6 担当者から一言

1. 授業中は説明をしっかりと聞いてください。また疑問点には積極的に質問してください。
2. 実習があります。プレゼンテーションなどには主体的に取り組んでください。
3. 課題は必ず提出すること。